

- 1 モダン誕生 シカゴー東京、浮世絵的世界観
Modern Beginnings: Chicago - Tokyo and the Culture of Ukiyo-e
- 2 「輝ける眉」からの眺望
Views from the Shining Brow
- 3 進歩主義教育の環境をつくる
Designing Progressive Educational Environments
- 4 交差する世界に建つ帝国ホテル
Imperial Hotel at the Global Crossroads
- 5 ミクロ/マクロのダイナミックな振幅
Micro/Macro Dynamics of Wright's Building Blocks
- 6 上昇する建築と環境の向上
Elevating Environments
- 7 多様な文化との邂逅
Wright and Global Cultures



【関連イベント】

「ライト展記念講演会」

講師 ケン・タダシ・オシマ氏
本展企画編集、
ワシントン大学建築学部教授
ジェニファー・グレイ氏
本展特別アドバイザー、
フランク・ロイド・ライト財団 副代表
タリアセン・インスティテュート・ディレクター

日時 10月21日(土)午後2時-
会場 講堂
定員 150名(抽選) | 聴講無料

講演会申し込み方法、
担当学芸員によるギャラリートーク、
その他関連イベントについては、
決まり次第、美術館ウェブサイト、
SNS等でお知らせします。

【同時開催】

・コレクション展 後援20年
若林 奮
・ライトと並走する
ヨーロッパのデザイン

【次回開催】

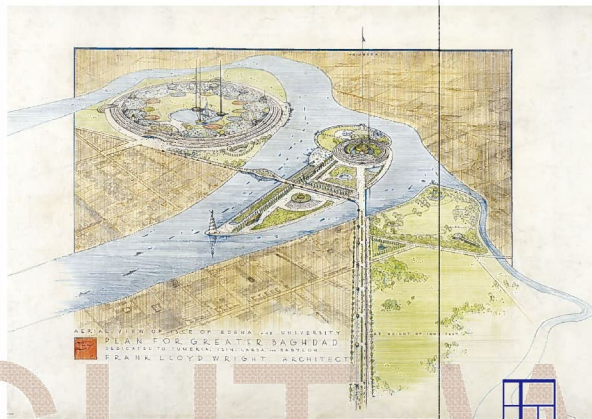
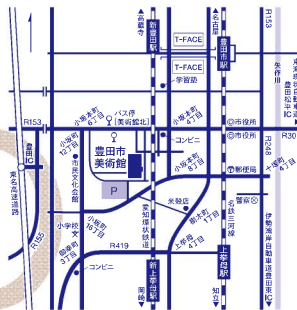
未来の驚異の部屋(仮)
2024年1月20日(土)~5月6日(月・祝)

【問合せ先】

豊田市美術館
471-0034
愛知県豊田市小坂本町8-5-1
TEL:0565-34-6610
Email: bijutsukom@city.toyota.aichi.jp

【交通機関ご利用の場合】

- ・名鉄三河線豊田駅-愛知環状鉄道新豊田駅より徒歩10分
- ・名鉄三河線上等乗車-愛知環状鉄道新上等乗車より徒歩30分
- ・お車ご利用の場合
東名高速道路
豊田ICより約15分
- ・東海環状自動車道
豊田松平ICより約15分
- ・伊勢湾岸自動車道
豊田東ICより約20分



豊田市美術館 | 2023年10月21日(土) — 12月24日(日)

休館日 月曜日 | 開館時間 午前10時~午後5時30分(入場は午後5時まで) | 主催 豊田市美術館、フランク・ロイド・ライト財団 | 共催 中日新聞社
特別協力 コロンビア大学エイヴリー建築美術館図書館、株式会社 帝国ホテル | 助成 公益財団法人ユニオン造形文化財団
展示協力 有限責任事業組合 森の製材リソラ | 後援 アメリカ大使館、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本建築家協会、
一般社団法人DOCCOMOMO・Japan、有機的建築アーカイブ

観覧料 一般:1,400円(1,200円)/高校・大学生:1,000円(800円)/中学生以下無料

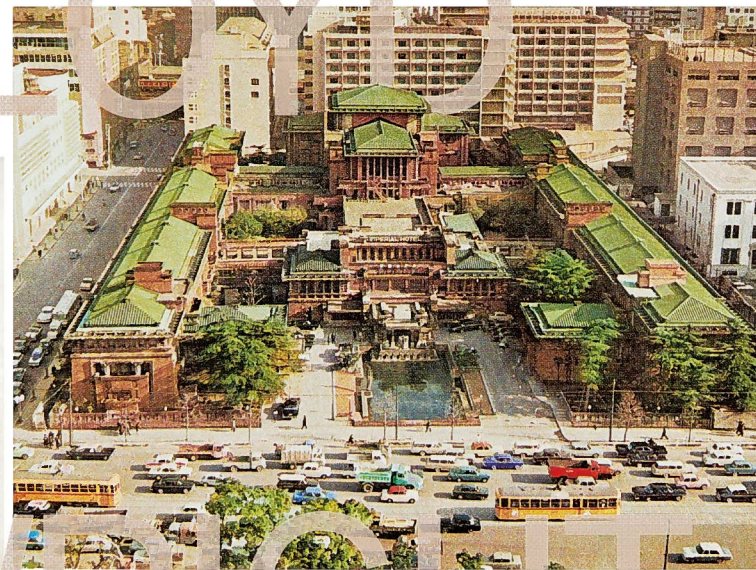
- ・ []内は前売券、20名以上の団体及びオンラインチケットの料金他割引はの適用不可
 - ・ 前売券の詳細及び観覧料の減免・割引等については美術館ウェブサイトをご確認ください。
 - ・ オンラインチケット:9月中旬から発売予定
 - ・ 金期中一部展示替えをします | 前期11月19日(日)まで | 後期11月21日(火)から
- この展覧会は、フランク・ロイド・ライト財団の協力のもと開催されます。This exhibition is supported through generous donations from the Frank Lloyd Wright Foundation, Scottsdale, Arizona.

【帝国ホテル二代目本館100周年】

The Wright Imperial Hotel at 100: Frank Lloyd Wright and the World

フランク・ロイド・ライト —— 世界を結ぶ建築

- 1 (1965年頃の帝国ホテル二代目本館(日本・東京・全景) 1965年頃、帝国ホテル蔵)
- 2 (メバウダ小計画案「イタタ」のウツタが1957年 真駒込組園 北から文化センターと大学をのぞく) コロンビア大学エイヴリー建築美術館蔵フランク・ロイド・ライト財団アーカイブ蔵
- 3 The Frank Lloyd Wright Foundation Archives (The Museum of Modern Art Library Architectural & Fine Arts Library, Columbia University, New York)
イジョン・ワグネル・ヒル・ワグネル・コンラッド・ラッセル・中央執務室の椅子 1938年頃、豊田市美術館蔵



【帝国ホテル二代目本館100周年】

The Wright Imperial Hotel at 100: Frank Lloyd Wright and the World

フランク・ロイド・ライト —— 世界を結ぶ建築



Toyota
Municipal
Museum
of Art
豊田市美術館

美術館ウェブサイト



「帝国ホテル二代目本館100周年」
フランク・ロイド・ライト
世界を結ぶ建築

The Wright Imperial Hotel at 100:
 Frank Lloyd Wright and the World

アメリカ近代建築の巨匠フランク・ロイド・ライト(1867-1959)。「カウフマン邸(落水荘)」や「グッゲンハイム美術館」で知られるライトは、「帝国ホテル二代目本館(現在は博物館明治村に一部移築保存)」や「自由学園明日館」を手がけ、熱烈な浮世絵愛好家の顔も持つ、日本と深い縁で結ばれた建築家です。

帝国ホテルが落成したのは、いまからちょうど100年前の1923年、関東大震災の発生

当日にあたります。災禍を生き延びたことで、ライトに大きな名声をもたらしたこの帝国ホテルは、広大な敷地に客室のほか劇場や舞踏会室などさまざまな施設を備えた、それ自体が都市であるかのような壮大なプロジェクトでした。そこには、ライトが過去に出会った多様な文化からの応用が認められ、またこのときの試みは、以後のライトの建築のなかで豊かな展開をみせることとなります。周囲の景観との有機的なつながり。ミクロとマクロ、部分と全体のダイナミックな呼応。自然と結びついた高層建築の構想。帝国ホテルとはまさに、彼にとって結節点に立つ建物だったことがわかります。

2012年にフランク・ロイド・ライト財団から図

面をはじめとする5万点を超える資料がニューヨーク近代美術館とコロンビア大学エイヴリー建築美術図書館に移管され、建築はもちろんのこと、芸術、デザイン、著述、造園、教育、技術革新、都市計画に至るライトの広範な視野と知性を明らかにすべく調査研究が続けられてきました。本展ではこうした近年の研究成果をふまえ、財団およびエイヴリー建築美術図書館の全面的な協力のもと、帝国ホテルを基軸に、多様な文化と交流し常に先駆的な活動を展開したライトの姿を明らかにします。

世界を横断して活躍したライトのグローバルな視点は、21世紀の今日的な課題と共鳴し、来るべき未来への提言となるはずです。

- 1-1 《フランク・ロイド・ライト、タリアセンにて》撮影者不明、撮影:1924年
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館フランク・ロイド・ライト財団アーカイブズ蔵 ●
- 1-2 《ヘルフォンテヌ墓地のウエイライト家の墓(ミズーリ州セントルイス)1892年
フランク・ロイド・ライトによるもの(複製)
建築:ルイス・サリヴァン、レンダリング:フランク・ロイド・ライト、
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館レイス・ヘンリー・サリヴァン・コレクション
Louis Henry Sullivan collection, 1873-1910.
Avery Architectural & Fine Arts Library, Columbia University
- 1-3 《第1案 ウィンズロー邸(透視図)》フランク・ロイド・ライトの建築と設計
出版:エルンスト・ワグスマート出版社、1910年、豊田市美術館蔵
- 1-4 敦川広重《名所江戸百景 八ツ景のほし》1856年、神奈川県立歴史博物館蔵(前期展示)
- 2-1 《小田原ホテル計画案(神奈川県小田原市)1917年(透視図)
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館フランク・ロイド・ライト財団アーカイブズ蔵 ●
- 2-2 《「ハバスター」社のための表紙デザイン(家、柱サボロンとサボロンの花)1927-28年、
米国議会図書館写真写真部蔵 [Prints and Photographs Division, Library of Congress,
Washington, DC LC-DIG-ppmcsa-8-4873
- 3-1 《オークパーク公園協会への設計競技案「キンダーシヨーンズ」(No. 8)
1920年、豊田市美術館蔵
- 3-2 《クーンリー・フレイハス幼稚園の窓ガラス》1912年頃、豊田市美術館蔵
- 4-1 《帝国ホテル二代目本館(東京、日比谷)第2案 1915年(横断面図)
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館フランク・ロイド・ライト財団アーカイブズ蔵 ●
- 4-2 《帝国ホテル二代目本館(東京、日比谷)第1案 1914年(鳥瞰透視図)
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館フランク・ロイド・ライト財団アーカイブズ蔵 ●
- 4-3 《帝国ホテル二代目本館(東京、日比谷)椅子「ヒーローク」チェア》
デザイン:1913年頃、製作:1930年頃、豊田市美術館蔵

- 5-1 《ドヘニー・ラング宅地階設計案案(ワシントン州シアトル)1923年頃(透視図)
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館フランク・ロイド・ライト財団アーカイブズ蔵 ●
- 5-2 《フレール邸(第3巻、第4巻、第5巻)
考案:フリードリヒ・フレール、製作:ミルトン・ブラッドレー、製作年不詳、青森県立美術館蔵
- 5-3 《ゴードン・ストロング自動車修繕美施設とプラネタリウム計画案
(メーランド州シカゴ)カウフマン(透視図)1925年、
米国議会図書館版画写真部蔵 [Prints and Photographs Division, Library of Congress,
Washington, DC LC-DIG-d-104232
- 6-1 《ジョンソン・ワックスビルウエズコンシヨーン(州シー)本部棟 中央執務室(南を見る)
撮影:2015年、写真提供:SCJジョンソン社
- 6-2 《セント・マークス教会のアーバート・タワ-計画案(ニューヨーク)1927-29年(鳥瞰透視図)
ニューヨーク近代美術館、Jeffrey P. Robin Purchase Fund, Barbara Pine Purchase Fund,
and Bechtle's Tokyo Purchase Fund, 1999.
DK3DLM4QGE © 2023, The Museum of Modern Art/Scala, Florence
- 7-1 《リウینگ・シティ構想 1958年(鳥瞰透視図)
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館フランク・ロイド・ライト財団アーカイブズ蔵 ●
- 7-2 《フランク・ロイド・ライトのフローエーカー・シティ構想に基づくCCアニメーション
建築:フランク・ロイド・ライト、制作:ディヴィッド・ロスコ、
映像撮影システムインストレーション設計:八幡有司、2023年

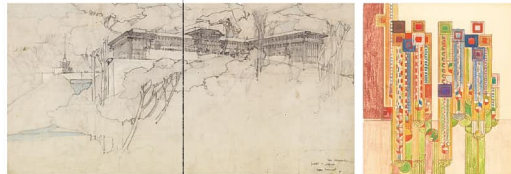
● The Frank Lloyd Wright Foundation Archives
 (The Museum of Modern Art, Avery Architectural & Fine Arts Library,
 Columbia University, New York)

1 **モダン誕生 シカゴ-東京、浮世絵的世界観** Modern Beginnings: Chicago - Tokyo and the Culture of Ukiyo-e



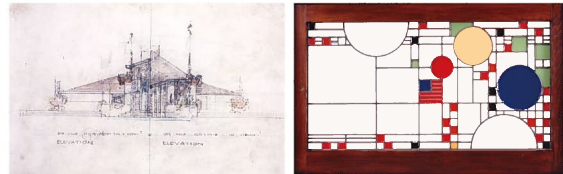
1-1 1-2 1-3 1-4

2 **輝ける肩からの眺望** Views from the Shining Brow



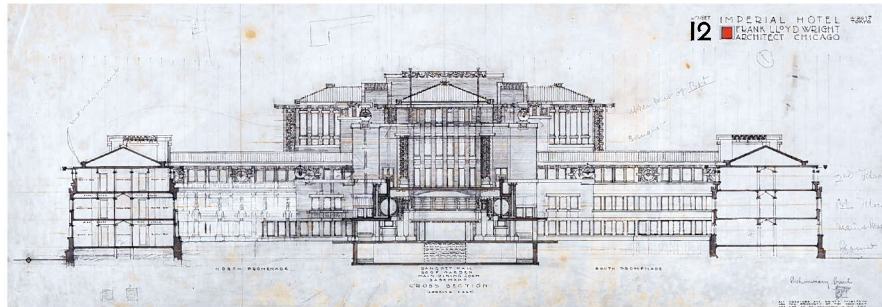
2-1 2-2 3-1

3 **進歩主義教育の環境をつくる** Designing Progressive Educational Environments

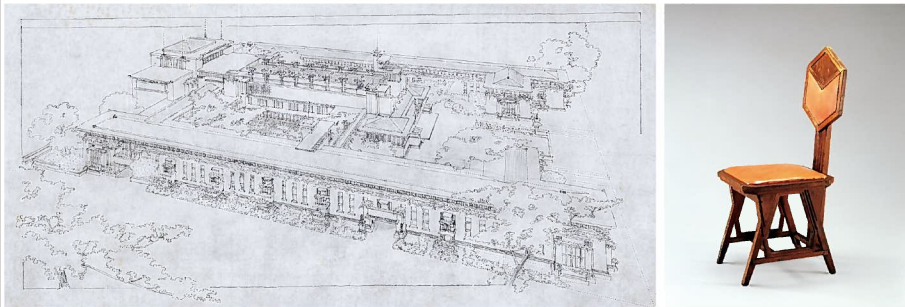


3-1 3-2

4 **交差する世界に建つ帝国ホテル** Imperial Hotel at the Global Crossroads



4-1



4-2 4-3

5 **ミクロ/マクロのダイナミックな振幅** Micro/Macro Dynamics of Wright's Building Blocks



5-1 5-2 5-3

6 **上昇する建築と環境の向上** Elevating Environments



6-1 6-2

7 **多様な文化との邂逅** Wright and Global Cultures



7-1 7-2